



西尾いきものふれあいの里だより

9月号

2025.9.1 発行

# さとやま

## 9月の里といきもの



今年の夏は体温越えの酷暑が続き、外出も勇気がいる日が続きました。また、梅雨末期のような停滞前線による激しい雨が降った地方もありました。9月も残暑が予想されています。しかし、徐々に気温が下がって、日照時間も短くなるので、秋のいきもの達も顔を出します。

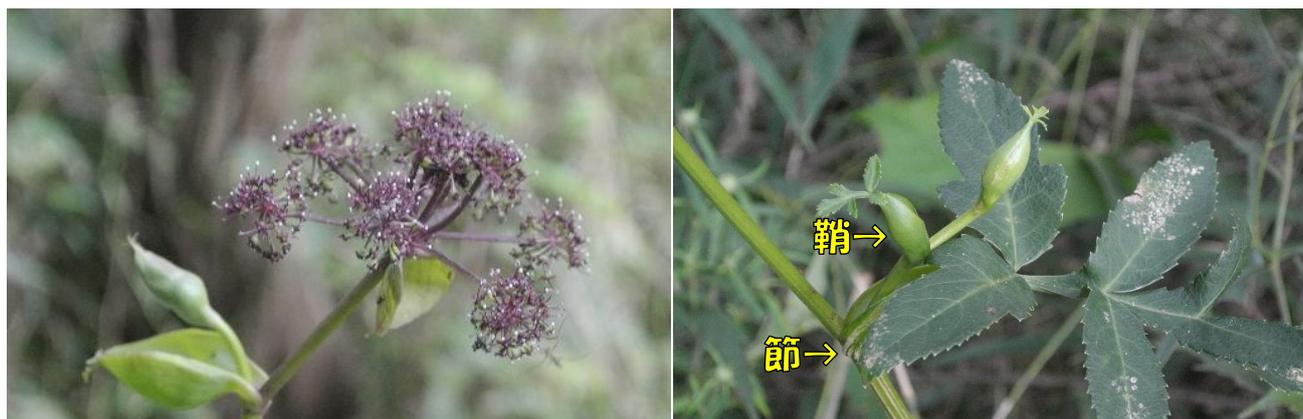


**ヒガンバナ**は、9月の彼岸頃に咲くため名が付きましたが、最近では1週間ほど遅れています。

有史以前、稲作伝来時に渡来した、外来種だと考えられています。全草に毒があるので、モグラやネズミを避けるため、あぜや土手に植えられました。染色体数が基本数の3倍ある三倍体なので、花が咲いても実ができず、球根でのみ殖えるクローンです。人の手で植えられたところを中心に殖えていくため、人の入らないところでは見られません。

里では、美しい風景を求めて、多くの人々が来園します。

## ハンノキ広場では、こんな花が見つかります



これは、セリ科の多年草**ノダケ**です。丸い茎が直立して節を作り、葉の根元の鞘が竹の皮に似ているため、この名がついたと言われています。草丈は80~150cmくらいで、葉の縁には粗い鋸歯があり、裏面は白っぽい色を帯びているので、すぐに見分けられます。

花は、セリ科特有の小さな花が集まって傘のような形になる、複散形花序という咲き方で、花弁は紫色です。白いものもあり、シロバナノダケと呼ばれます。雄しべが伸びている雄性期と、雌しべが立っている雌性期があり、自花受粉を避けています。



花が終わると子房が成長し、約4~6mmの長さの扁平で楕円形をした種子ができます。種子には薄い翼が付いていて、風を利用して広がることができます。

太い根は「前胡（ぜんこ）」と呼ばれ、咳や痰を緩和したり、解熱や湿疹改善などの漢方薬として薬効があります。また、若葉や茎は、おひたしや和え物として食べられるそうです。

## ところで、杉並木や万灯山エリアでは、こんな植物も見られます



これも同じセリ科の多年草**アシタバ**です。複散形花序の花の花弁は白く、ノダケより大型でたくましい姿です。

主に伊豆諸島などに自生し、野菜として栽培されていて、里にも持ち込まれたものと思われる。

摘み取っても翌日に新しい葉を出すほどの成長力から名が付き、天ぷらやおひたしなどの食材として人気があります。

## 9月はこんな生きものも見られます

ビオトープ上の池では、フウロウソウ科の多年草、**ゲンノショウコ**の赤い花がみつかります。この植物は、富士川あたりを境に東日本に白花が多く、西日本に赤花が多く分布します。里では、中央広場から上の道辺りに白花もあります。健胃・整腸作用があり、その即効性から、「現の証拠」と名付けられました。

里の日当たりのよいところでは**ツルマメ**、日当たりの悪いところでは**ヤブマメ**の花が見られます。どちらもマメ科の一年草で、ツルマメは、ダイズの原種だと言われており、若い鞘を茹でて枝豆のように食べることができます。また、ヤブマメは、花のあと地上にできる鞘の中には、うずら豆によく似た種子ができます。地下にできる咲かない花、閉鎖花の種子は大きくて、アイヌ人は食べていたそうです。



ビオトープ上の池や、万灯山エリアでは、キク科の多年草**ヒヨドリバナ**の白い花が咲いています。花は、花弁のない筒状花が集まったものです。

ビオトープ上の池や万灯山へ向かう道では、バラ科の多年草**ヒメキンミズヒキ**の星形の可愛い花を見つけることができます。実はひつつき虫になります。

万灯山山頂付近などでは、秋の七草の一つ、萩の仲間である**マルバハギ**が花をつけます。「草」と呼ばれていますが、マメ科の木本です。

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、9月も下旬になると、少しは過ごしやすくなることでしょう。こんな秋のいきものを探して、里を散策してみませんか。

## 8月の行事紹介



「里の小川で生きものを探そう」を8月3日(日)に開催しました。里山エリアの棚田の横を流れる小さな小川にどんな生き物がいるか探して、川に入りました。川岸の下流側にタモ網を入れ、上流側から足で草をガサガサと動かし、魚を追い込みました。カワムツ、カワヨシノボリ、ヌマエビ、サワガニなど多くの生き物を捕まえることができました。その後、捕まえた魚などを観察し特性などを学びました。ウシガエルにもさわられたよ!

## 9月の行事予定

7日(日)	木粉粘土で里のへんてこ怪獣を作ろう!	20名	AM 9:30~11:30	三矢由紀子
-------	--------------------	-----	---------------	-------

内容：里山を散策して、小枝・葉っぱなどを拾い、怪獣作りの材料集めを行います。木粉粘土に拾ってきた小枝等をぶすぶすさして怪獣(?)を作ろう。=小学校低学年向け= 親子で参加してね。(材料費:200円)

21日(日)	楽しい絵手紙	20名	AM 9:30~11:30	市川百合子
--------	--------	-----	---------------	-------

内容：白いハガキからはみ出すように、心をこめて自然の生きものを描きます。友人や親しい人に送れば、きっと喜んで頂けます。初心者歓迎。楽しんで書きましょう。(材料費:100円)

28日(日)	ゆっくり 俳キング	20名	AM 9:30~11:30	服部くらら
--------	-----------	-----	---------------	-------

内容：里山をゆっくり歩くと五感にスイッチが入り、普段では気づけないことに一杯出会えます。その時の驚きや嬉しさをあたためると、もう一句になってしまうんですよ。

## 10月の行事予定

5日(日)	棚田でお米づくりしようⅡ(稲刈)	60名	AM 9:30~11:30	当園職員
-------	------------------	-----	---------------	------

19日(日)	棚田でお米づくりしようⅢ(脱穀)	60名	AM 9:30~11:30	当園職員
--------	------------------	-----	---------------	------

内容：実った稲をカマで刈取り、「はざ」に掛けて乾燥させ、稲穂を脱穀機にかけ粃にします。

※「棚田でお米を作ろう」を2回受講された方には、お米をプレゼントします!また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。[予備日:5日⇒12日・19日⇒26日]

18日(土)	秋の里山でキノコを見つけよう	20名	AM 9:30~11:30	石川まゆみ
--------	----------------	-----	---------------	-------

内容：秋は落葉の上をサクサク散歩するだけでも楽しいですが、きのこを見つけるともっと楽しくなりますよ!きのこ目になって見つけてみましょう!

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が4名以下の場合には開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学报い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

## 西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課